

南相馬市復興事業等の主な進捗状況について（平成28年6月15日現在）

現在の避難状況

前月から主な変更箇所は下線あり

住民基本台帳ベース(単位:人)

区分		(参考) H26.4.3	(参考) H27.4.2	H28.5.15	H28.6.15	前月からの 増減	
住民登録人口	+ + + 市全体	64,148	63,555	63,437	63,371	66	死亡 / 転出 247人 出生 / 転入 181人
市外避難者数	市全体	14,438	12,411	10,272	10,129	143	死亡 9人 転出 69人
	(小高区)	5,316	5,067	4,713	4,689	24	
	(鹿島区)	820	609	442	427	15	
	(原町区)	8,302	6,735	5,117	5,013	104	
市内仮設住宅 入居者数	市全体	5,508	4,872	3,563	3,426	137	死亡 1人 転出 5人
	(小高区)	3,457	3,219	2,627	2,533	94	
	(鹿島区)	784	548	246	230	16	
	(原町区)	1,267	1,105	690	663	27	
市内借り上げ住宅等 入居者数	市全体	3,775	3,716	3,554	3,608	54	死亡 6人 転出 24人
	(小高区)	2,367	2,440	2,479	2,531	52	
	(鹿島区)	222	192	153	158	5	
	(原町区)	1,186	1,084	922	919	3	
自宅	市全体	40,427	42,556	46,048	46,208	160	死亡 43人 転出 90人
	(小高区)	-	-	0	0	0	
	(鹿島区)	-	-	9,986	10,029	43	
	(原町区)	-	-	36,062	36,179	117	
他市町村からの 避難者数	市全体	1,966	2,103	2,326	2,341	15	
市内居住人口	+ + + 市全体	51,676	53,247	55,491	55,583	92	

転出 / 死亡者数
(震災以降)
転出: 9,889人
死亡: 4,794人

「市外避難者数」 143人減（死亡・転出78人）。

主な帰還先としては市内の自宅となっている。

「市内仮設住宅入居者数」 137人減。

主に市内の自宅へ帰還している。

「市内借り上げ住宅等入居者数」 54人増。

主に市内の自宅へ帰還している。

「自宅」 160人増。

内訳の大半は市外の避難先又は市内仮設住宅などから自宅を再建するなどして帰還した
もの。「自宅」には市内転居や出生転入が含まれる。

市内居住人口 92人増。

参考: 市内仮設住宅入居状況 平成28年6月15日現在

	戸数	入居戸数	入居率	残戸数
鹿島区	2,184	1,373	62.9%	811
原町区	681	578	84.9%	103
合計	2,865	1,951	68.1%	914

(市外仮設住宅入居状況)

	割当戸数	入居戸数	入居率	残戸数
相馬市	254	93	36.6%	161
新地町	-	51	-	-

資料提供: 建築住宅課

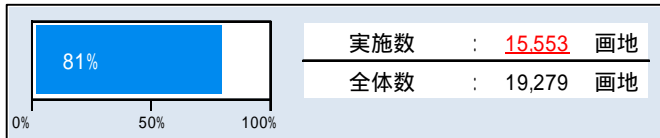
除染関係

1 生活圏除染事業について

事業概要：市除染計画に基づき、市内において除染を実施し放射線量の低減に資する。

完了目標：平成 28 年度末

除染完了画地



区分	行政区	除染
特定避難勧奨地点を含む地域	片倉、押釜、高倉、大谷、榎原、大原、馬場、雲雀が原	終了
年間5mSv超を含む地域	大木戸、牛越、長野、北長野、石神、北新田、信田沢、深野、上柘窪、柘窪、小池、矢川原、陣ヶ崎二、小山田、上太田、陣ヶ崎一	終了
比較的線量の低い「その他の区域」	本陣前、国見町、上町、北泉、泉、西町、南町、三島町、仲町、本町、北町、小川町、東町、錦町、大町、栄町、旭町、橋本町、二見町、青葉町、桜井町、高見町、日の出町、 御山、山下、浮田、岡和田、牛河内	終了
	高平地区、太田地区、大甕地区、鹿島区上真野地区、真野地区、鹿島地区、八沢地区、	実施中

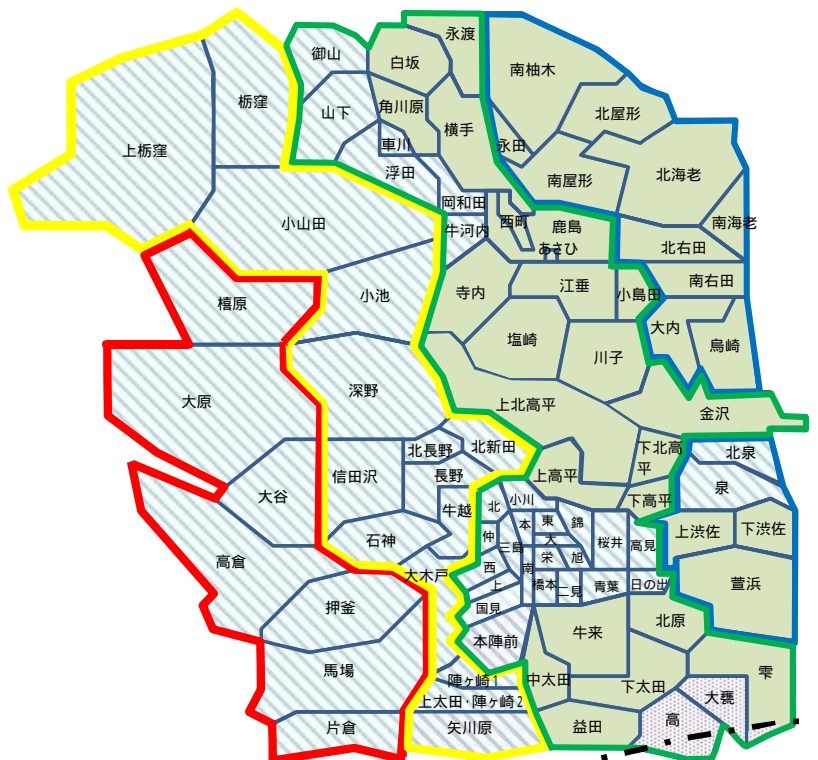
：国道 6 号の西部区域及び国道 6 号の東部

区域図及び進捗図

- 特定避難勧奨地点を含む地域
- 年間5mSv超を含む地域
- 国道6号の西部地域
- 国道6号の東部地域

進捗図(塗潰し)

- 除染実施済
- 除染作業中
- 仮置場確保済
- 仮置場確保中



注：除染実施済について
同意書の提出の遅れ、非同意、所有者の都合による中断等除きます。

2 事後モニタリング・フォローアップ除染事業（市事業）

事後モニタリングについて

事業概要： 除染が終了した宅地等において、除染の効果が維持されているか、また、除染作業において放射性物質の取り残しがないかを確認する。その中で、再汚染等により除染の効果が維持されていない或いは放射性物質の取り残しがあった箇所については、フォローアップ除染に繋げていく。

完了目標： 平成 28 年度末

進捗状況： 除染実施地区に順次案内を発送中。
 今月は片倉の事後モニタリングが完了し、馬場において事後モニタリングを継続実施中。

【当面の予定】

4月～：案内の発送、事後モニタリングの実施

6月～：環境省協議中

7月～：フォローアップ除染

3 避難指示区域除染事業について（国事業）

事業概要：環境省は、特別地域内除染実施計画（南相馬市）に基づき、旧警戒区域及び旧計画的避難区域において除染を実施し放射線量の低減に資する。

完了目標：平成 28 年度末

除染実施率：（平成 28 年 4 月 30 日現在）

	実施率	実績量	対象数量
宅地	93%	約 4,100 件（約 3,900 件）	約 4,400 件
	100% 1	約 4,000 件 1	約 4,000 件 2
農地	34%（33%）	約 1,000ha（約 1,000ha）	約 3,100ha
森林	60%（58%）	約 690ha（約 670ha）	約 1,200 ha
道路	39%（39%）	約 120ha（約 120ha）	約 320ha

（ ）内は前月

1 は、平成 27 年度までに除染を行える環境が整った画地数に係る実施率

2 は、平成 27 年度までに除染を行える環境が整った画地数

区分	行政区	除染	仮置場
第四・五 工区	金谷、川房、大田和、神山	実施中	それぞれの地域に設置 造成・搬入中
	羽倉、大富		
	南鳩原、飯崎、片草、北鳩原、 小谷、上根沢、小屋木	実施中	上段の行政区を除く、西部及び中部については、小谷、南鳩原、北鳩原、片草に跨る地域に設置し、造成・搬入中。
	1 区から 5 区、岡田、大井、小高、吉名、 川原田、女場、上蛭沢、下蛭沢、浦尻、 行津、上浦、角部内、上耳谷、下耳谷、 福岡、泉沢、下浦、塚原、村上、井田川	実施中	神山を除く東部については、行津地区に設置し、造成・搬入中
	高一・二、小浜、江井、堤谷、米々沢、 鶴谷、雫、小木迫、下江井、小沢、大甕	実施中	太田・大甕地区に造成・設計中
第一から三工区引き継ぎ分及び 20 km 圏外にある居住制限区域	実施中	上記仮置場及び馬場・高倉の山側に仮置場の設計・造成中	
公共施設	-	実施中	（現地保管）

着手済：一連の除染行為（除草、堆積物除去、洗浄等）のうち、何らかの行為が行われた状態

除染完了：一連の除染行為（除草、堆積物除去、洗浄等）が終了した状態

4 農地除染事業（その他の区域）について（市事業）

事業概要：市除染実施計画及び市農地除染基本方針に基づき、農地除染を実施し放射線量の低減に資する。

完了目標：平成 28 年度末

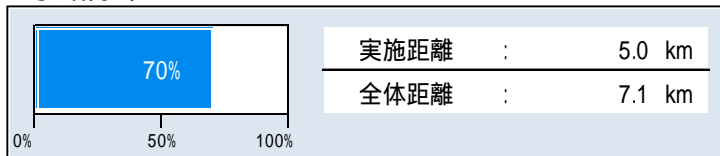
進捗：当初発注分の除染については平成 27 年度に完了した。

平成 28 年度については、追加して除染の必要が生じた農地等について除染を実施する。

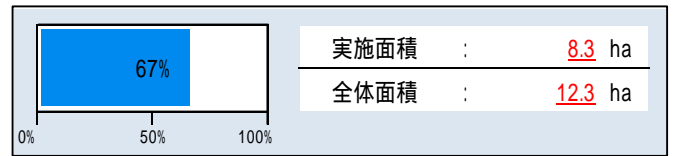
平成 27 年度までの実績：水路除染 1,506 km、農地除染 4,071 ha、農道除染 210 km

【平成 28 年度予定分（平成 28 年 4 月 15 日時点）】

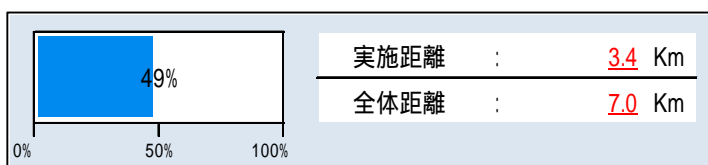
水路除染



農地除染



農道除染



廃棄物処理関係

5 災害廃棄物処理事業（避難指示区域）について（国事業）

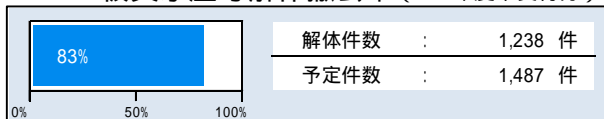
事業概要：環境省が旧警戒区域内のがれき処理、片付けごみ処理、被災・荒廃家屋の解体撤去、被災車両の撤去を行うもの。

完了目標：平成 28 年度末

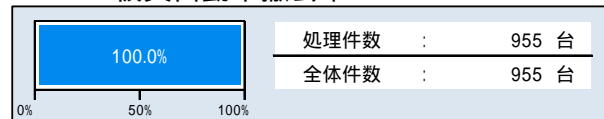
災害廃棄物搬入量（津波がれき、片付けごみ、解体家屋等）

413,902 t（津波がれきは搬入完了）

被災家屋等解体撤去率（H26 年度末受付分）



被災自動車撤去率



7月21日から解体開始（発注件数：827件）

平成 28 年 4 月をもって完了

荒廃家屋解体申請件数：1,170件（5月末時点）

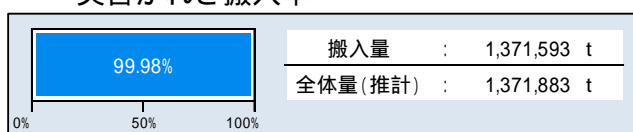
（うち長期避難に伴う解体申請件数 294件、被災家屋解体 876件）

6 災害廃棄物処理事業（その他の区域）について（市事業）

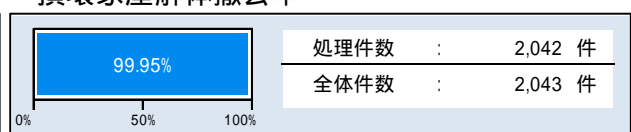
事業概要：市が旧警戒区域外のがれき処理、倒壊家屋の解体撤去、被災自動車の撤去を行うもの。

完了目標：平成 28 年度末

災害がれき搬入率



損壊家屋解体撤去率



災害がれきの搬入については概ね完了。

損壊家屋解体撤去率については概ね完了。

住宅関係

7 宅地造成事業について

事業概要：本市へ個別移転や定住を希望する原発被災者及び津波罹災者に対し、市街地へ分譲住宅地を提供する。

原町区大木戸地区 68区画

完了目標：平成28年度中

進捗：設計・施工一括工事発注済（設計完了・工事着工）

8 県復興公営住宅の整備について（県事業）

事業概要：県において、原子力災害により避難指示を受けている方（南相馬市以外の避難者含む）が、低廉な家賃で入居できる公営住宅の整備を進めている。

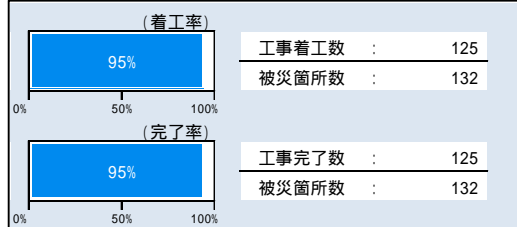
進捗状況：

地区	戸数	住居形態	進捗	入居目標年度	
原町	北原	264戸	集合住宅	建築工事中	H28年度前期
	上町	182戸	集合住宅	建築工事中	H28年度後期
	辻内	176戸	集合住宅	造成中/ 建築工事中	H28年度後期
	南町	255戸	集合住宅	建築工事中	H28年度後期
鹿島	西町	50戸	戸建住宅	造成中	H28年度後期
合計	927戸				

都市基盤関係

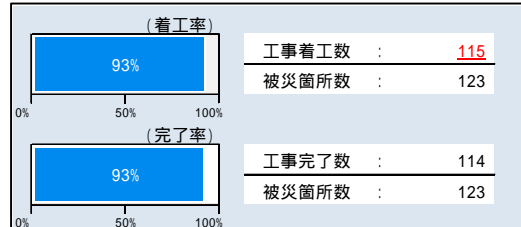
9 道路復旧事業について（市事業）

（避難指示区域）



前月同様

（その他区域）



工事1件発注

区域	被災概要	完了予定	被災箇所	工事発注	完了	完了率
避難指示区域	地震災害道路	完了	92	92	92	100%
	津波災害道路	29年度内	35	29	29	83%
	橋梁災害道路	29年度内	5	4	4	80%
その他の区域	地震災害道路	完了	73	73	73	100%
	津波災害道路	29年度内	46	38	37	80%
	橋梁災害道路	完了	4	4	4	100%

1 0 道路復旧事業について（県事業）

災害復旧事業

区域	区分	被災箇所	着手箇所	完了箇所	概要
避難指示区域	道路災害復旧事業	43	41	40	・道路の未着手箇所は平成28年6月に発注予定。 ・橋梁は全箇所発注済み。
	橋梁災害復旧事業	6	6	4	
その他の区域	道路災害復旧事業	26	<u>26</u>	25	・ <u>道路は、平成28年度に完了予定。</u>
	橋梁災害復旧事業	3	3	3	

その他の事業

区分	状況
県道原町川俣線八木沢工区(道路改良)	・トンネル工事の起工式を平成26年3月25日に行い、トンネル工事を実施中。平成28年3月20日にトンネルが貫通。平成30年に全線開通を目指す。
県道大芦鹿島線檜原工区(道路災害復旧工事含む)	・26年8月に工事着手、平成28年度上半期の工事完了を目指す。
県道原町海老相馬線	・南海老地内は、26年7月に工事着手し、平成30年度の完了を目指す。 ・烏崎地内は、27年4月に工事着手し、平成29年度の完了を目指す。 ・沖田地内は、27年7月に工事完了。

区分	状況
県道北泉小高線	避難指示区域 ・26年度に概略設計完了。 ・28年度は引き続き調査・予備設計を行う。 その他の区域 ・萱浜地内の嵩上げ区間は、26年6月に工事着手。 ・雫地内のハイパス区間は、27年3月に工事着手。
県道広野小高線	避難指示区域 ・26年度に概略設計完了。 ・28年度は引き続き調査・予備設計を行う。

1 1 都市防災推進事業（北泉海浜総合公園の復旧等）について

事業概要：被災した北泉海浜総合公園を、震災前のように市民の憩いの場として復旧・復興するため、地域住民等と一緒に取り組み整備を図る。

完了目標：平成29年度

進捗：

- ・高台エリアの災害復旧工事は、27年3月未完了。
土木工事...都市公園施設等 電気工事...配電線路設備等 機械工事...屋外排水設備等
- ・津波被害エリアの災害査定は26年11月17～18日に実施、査定率98.5%。28年度末の

工事完了予定。

- ・除染対策事業にて高台エリアの空間線量の低減化を図る。26年9月26日契約締結、27年3月末完了。
- ・上記、災害復旧事業及び除染対策事業の完了を受けて、高台エリアをH27年4月末に再開している。
- ・北泉海浜総合公園に隣接する、防災集団移転事業で買い取った土地の一部を利用して震災メモリアルパークの整備を検討する。
- ・津波被災エリアの土木工事は27年12月16日契約締結。
- ・津波被災エリアの橋梁工事（上部工）は28年1月20日契約締結。
- ・津波被災エリアの電気設備工事及び機械設備工事は28年3月29日契約締結。
- ・津波被災エリアの建築工事はH28年3月24日契約締結。

1.2 河川災害復旧事業について

（避難指示区域）

- ・復旧箇所：1箇所（小沢川）
- ・災害査定は25年10月に完了。27年8月に工事を発注し27年度工事を完了

（その他の区域）

- ・復旧箇所：4箇所（金沢川3箇所、真野川右支）
- ・災害査定はすべて25年6月に完了。金沢川3箇所は26年3月に工事完了。真野川右支は、26年9月に工事を発注し27年度工事を完了。

1.3 河川・海岸災害復旧事業について（県事業）

区域	区分	被災箇所	着手箇所	完了箇所	概要
避難指示区域	河川災害復旧事業	45	42	36	河川の未着手箇所は平成28年度内に発注予定。
	海岸災害復旧事業	9	9	4	
その他の区域	河川災害復旧事業	17	17	14	真野川は平成28年度内に工事完了予定。
	海岸災害復旧事業	5	5	1	

1.4 海岸災害復旧事業（農林海岸部）について（県事業）

避難指示区域 5,325m

- ・農地海岸堤防については復旧工事に着手。（30年度完了予定）

その他の区域 1,074m

- ・農地海岸堤防については復旧工事に着手。（27年度完了予定）
- ・漁港海岸堤防については復旧工事に着手。（28年度完了予定）

1.5 海岸防災林造成事業について（県・市事業）

事業概要：総延長約17.0km、林帯幅200m、中央部分に津波で発生した瓦礫（再生資材）を盛土として利用。

県施工 植生基盤盛土等

鹿島区は、25年4月から市有地において工事に着手。現在、北海老、南海老地区において工事を実施中。原町区においては、平成26年3月から萱浜・雫地区におい

て工事に着手。小高区においては、現在、塚原地区において工事を実施中。用地測量完了地区から順次用地買収を進め工事実施予定としている。

市施工 再生資材盛土部分

- ・盛土位置・構造等について関係機関と協議を進めている。
- ・20 km圏外については、原町区萱浜・零地区及び北泉において一部造成完了。
- ・鹿島区海老・右田地区において造成工事実施中。10月以降北海老地区及び北萱浜地区で工事実施中。
- ・20 km圏内については、小高区内の家屋解体瓦礫及び JR 常磐線の復旧工事からでる砕石等を塚原地区の高盛土部分へ盛土材搬入中。

経済関係

1.6 農地・農業用施設災害復旧事業について

避難指示区域

市営事業：平成24年度37箇所、平成25年度75箇所、平成26年度20箇所、平成27年度10箇所について災害査定済。

災害箇所数 142箇所（農地34、ため池43、道路21、水路15、橋梁2、揚水機11、頭首工10、除塩6）

発注済17（田6、道路2、ため池7、排水1、頭首工1）

完了20（田2、道路4、ため池12、橋梁2、）

県営事業：小高排水機場（完了）、原町南部地区（農地）復旧中。

国営事業：3排水機場（谷地・村上第二・塚原第二）について応急復旧工事が完了。

5排水機場（小沢、谷地、塚原第二、村上、福浦南部）本復旧工事中。

1排水機場（小浜）完了

その他の区域

市営事業：概ね完了。（一部圃場整備計画内に復旧箇所があるが廃工予定）

県営事業：平成25年度に3排水機場復旧工事完了（八沢、泉、前向）。

2排水機場復旧工事中（八沢浦、金沢）。

1.7 農山漁村地域復興基盤総合整備事業について（県事業）

地区	事業地区	完成予定	県営土地改良事業計画確定	工事契約	工事着手
鹿島	八沢	31年度末	25年12月	26年3月	26年6月
	右田・海老	31年度末	26年1月	26年12月	27年1月
	真野	32年度末	26年2月	27年9月	27年10月
原町	金沢・北泉	29年度末	25年5月	27年9月	27年10月
	原町東	31年度末	25年7月	26年3月	26年5月
	原町南部	31年度末	12年10月	26年3月	26年3月

1 8 真野川漁港整備事業について

事業概要：本格的な操業再開に向けて各施設を整備する。

完了目標：（25年度）漁船保全修理施設済、
（26年度）漁具倉庫済
（27年度）水産物鮮度保持施設、水産物荷捌き施設、海水処理施設、
作業場
（28年度）オイルフェンス

進 捗：漁船保全修理施設建設工事については、26年3月に工事完了。
漁具倉庫については、27年3月に工事完了。水産物荷捌き施設及び
海水処理施設、水産物鮮度保持施設、作業場については28年3月に工事
完了。オイルフェンスについては28年度中に工事完了予定。

1 9 被災地域農業復興総合支援事業（施設園芸）について

事業概要： 早期の営農再開と風評被害克服のため、園芸施設（養液栽培）を整備
する。24年度に原町区泉地区にドーム型の施設を整備済み。第2弾とし
て鹿島区南海老地区に大型ハウスを整備し貸し出す事業。

進 捗： ・26年3月～4月に施設の貸与者の公募を実施。（公募件数：1件）
・26年7月に貸与者の決定。
・27年6月～8月に地質調査及び測量設計業務を実施。
・27年9月に公募型プロポーザルによる事業請負業者の公募実施。
・28年8月末に一部施設の竣工を予定。同年11月末の竣工を目指す。

2 0 鮭繁殖施設整備事業（原町区）について

事業概要： 鮭の資源を確保し、歴史と伝統のある鮭の俎上を後世に引き継ぐために
被災したふ化施設を整備する。

進 捗： ・28年5月までに施設用地の確認を行う。
・28年5月に設計を発注する。（工期6月～8月）
・28年10月に工事を発注する。（工期11月～2月）

2 1 小高区仮設店舗開設事業について

事業概要：避難指示解除準備区域等に指定されている小高区において、帰還住民の生
活基盤を確保し、帰還促進を図るため、平成27年9月に開設した生活必需
品等を販売する仮設店舗を運営する。

・店舗営業時間：午前9時から午後7時まで（日曜定休）
・取扱い商品：食料品（肉・野菜等の生鮮食品を含む）飲料品、弁当、酒類、
たばこ、日用雑貨等

2.2 (仮称)南相馬市復興工業団地整備事業について

事業概要： 原町区渋佐・萱浜地区に工業団地を造成し、「ロボットテストフィールド」、「国際産学官共同利用施設」を整備し、ロボット関連産業を市の主要産業に成長させる。

完了目標： 平成 29 年度末 (平成 28 年度末 一部供用開始)

進 捗： 平成 24 年度 測量、地質調査、基本計画を作成。
 平成 25 年度 基本設計 12 月に完了。埋蔵文化財調査を 3 月に完了。
 平成 26 年度 第 1 期造成工事発注
 平成 28 年度 第 2 期造成工事発注予定
 ロボットテストフィールド整備着工予定(福島県)
 平成 30 年度 ロボットテストフィールド供用開始予定

教育関係

2.3 学習塾等と連携した学力強化推進事業について

事業概要：学習塾と連携して中学校第 2 学年、3 学年に学習塾講師を派遣し授業等実施。

夏季休業中に第 3 学年のうち希望者を対象とした集中講座を開講。(学習塾講師に加えて大学生、卒業生も活用)

・実施教科：数学、英語

・実施回数：第 3 学年 7 月～ 2 月 月 2 日程度

第 2 学年 10 月～ 1 月 月 2 日程度、長期休業中月 2 日程度

8 月 3 日(火)～ 5 日(木)集中講座

実施日	実施日	実施校等	対象	内容
通常講座	7 月～ 2 月	市内各中学校	中学 3 年生	・仙台進学プラザ講師 ・数学、英語の 2 教科 ・基本徹底、応用発展の 2 コース
夏季集中講座	8 月 3 日 ～ 8 月 5 日	市労働福祉会館 ほか 3 会場	3 年生の 希望者	・仙台進学プラザ講師 ・卒業生 ・国語、数学、英語の 3 教科 ・通常、ハイクラスの 2 コース
通常講座	10 月～ 1 月	市内各中学校	中学 2 年生	・仙台進学プラザ講師 ・数学、英語の 2 教科 ・基本徹底、応用発展の 2 コース

2.4 児童生徒の健康を守る安全・安心対策の実施について

事業概要：外出や屋外活動等を控えている児童生徒の精神的ストレスや運動不足の解消を図るため、学校へ専門家を派遣する。

・医師やスポーツトレーナーを派遣し、児童生徒に望ましい生活習慣や運動習慣を身につけてもらうための講話や実技講習会の実施。

・放射線に関する知識を有する専門医等を派遣し、保護者や教職員等対象に研修会の実施。(6 月から事業開始)

平成27年度実績

実施日	学校	講師	内容	対象
6月23日	鹿島中	南相馬市立総合病院医師 坪倉正治 氏	講演「放射線と健康管理」	全生徒 教職員
7月6日	太田小	スポーツアカデミー相馬 永沢 氏、岩佐 氏	全児童による水泳指導及びスポーツ指導	全児童
7月8日	八沢小	日本体育協会公認ジュニア アスボール指導員 安齋博勝 氏	「親子で楽しめる遊び感覚のスポーツ」	全児童 保護者
7月15日	原二小	野外教育事業所 ワンパク大学 三好利和 氏	レクリエーション室内運動	1・2年
9月2,3日	原一中	上智大学心理学科教授 久田 満 氏	「心のエクササイズ」 (リラクゼーションの授業)	1・2年 教職員
9月10日	上真野小	東北大学名誉教授 馬場 護 氏	放射線についての講義・実験	全児童
9月28日	原三中	放射線科学センター 高橋一智 氏	放射線についての講義・実験	全生徒
9月29日	福浦・金房・鳩原小	日本体育協会公認ジュニア アスボール指導員 安齋博勝 氏	「精神的ストレスや運動不足を解消するためのレクリエーション活動」	全児童
10月29日	原三小	日本体育協会公認ジュニア アスボール指導員 安齋博勝 氏	動きづくり運動(コーディネーション運動)	5・6年
11月5日	大甕小	日本体育協会公認ジュニア アスボール指導員 安齋博勝 氏	楽しくできる体力維持・向上のための運動	全児童
11月25日	小高小	野外教育事業所 ワンパク大学 三好利和 氏	集団遊び、レクリエーション	1・2年
11月26日	鹿島小	東邦銀行陸上競技部コーチ 吉田真希子 氏	体力向上プログラム及び走技術のトレーニング	5年
11月27日	原二中	上智大学心理学科教授 久田 満 氏 東京家政大学心理カウンセリング学科教授 三浦正江 氏	「心のエクササイズ」 (リラクゼーションの授業)	全生徒
1月26日	石二小	東邦銀行陸上競技部 渡辺真弓 氏	陸上教室	5・6年
2月9日	石神中	南相馬市立総合病院医師 坪倉正治 氏	放射線教室 (放射線の基礎知識を身につけ、放射線を正しく理解する)	全生徒
3月3日	石一小	福島大学トラッククラブ コーチ 菊田明博 氏	陸上教室	全児童

2.5 市内の幼稚園・保育園の授業料等の無料化について

事業概要：・幼稚園授業料無料化事業

(公立幼稚園授業料を無料、私立幼稚園在籍園児の保護者に対して実質無料となるよう補助する。)

・保育園(所)保育料無料化事業

・認定こども園・小規模保育事業所等保育料無料化事業

(私立認定こども園・私立小規模保育事業所等在籍園児の保護者に対して)

実質無料となるよう補助する。)

・認可外保育施設入所支援事業

(認可外保育施設に入所する児童に対して保育料の一部を助成する。)

参考：幼児・児童・生徒の在籍状況

(幼児数)

区分	(参考)					H28. 6.1		
	H23.5.6 園児数	H24.4.1 園児数	H25.4.1 園児数	H26.4.1 園児数	H27.4.1 園児数	園児数 ()は前月	対前月	待機 児童
保育園	167 人	394 人	462 人	478 人	608 人	660 (649) 人	+11 人	57 人
幼稚園	0 人	375 人	462 人	494 人	533 人	561 (557) 人	+4 人	
計	167 人	769 人	924 人	972 人	1141 人	1,221 (1206) 人	+15 人	

保育園の区分には、認定こども園、小規模保育事業の園児数が含まれている。

(小学校児童数)

区名	H27.4.6 在籍者数 A	H28 年度 予定人数 B	H28.3.1 在籍者数 C	H28.4.6(1学期開始日)			
				在籍者数 D	対予定 D/B	対前年 D - A	対前回 D - C
原町区	1,470 人	2,100 人	1,499 人	1,549 人	74%	+79 人	+50 人
鹿島区	546 人	559 人	546 人	527 人	94%	19 人	19 人
小高区	134 人	427 人	135 人	92 人	22%	42 人	43 人
計	2,150 人	3,086 人	2,180 人	2,168 人	70%	+18 人	12 人

(中学校生徒数)

区名	H27.4.6 在籍者数 A	H28 年度 予定人数 B	H28.3.1 在籍者数 C	H28.4.6(1学期開始日)			
				在籍者数 D	対予定 D/B	対前年 D - A	対前回 D - C
原町区	960 人	1,182 人	961 人	892 人	76%	68 人	69 人
鹿島区	293 人	328 人	297 人	309 人	94%	+16 人	+12 人
小高区	100 人	299 人	100 人	89 人	30%	11 人	11 人
計	1,353 人	1,809 人	1,358 人	1,290 人	71%	63 人	68 人

(高等学校生徒数) ・県教育委員会聴き取りによる ・定員は第1～3学年の合計

区分	H22.5.1 現在		H26.4.9 現在		H27.4.9 現在		H28.4.11 現在		サテライト校(場 所)
	定員	在籍者数	定員	在籍者数	定員	在籍者数	定員	在籍者数	
小高商業高等学校	240 人	217 人	240 人	141 人	240 人	164 人	240 人	151 人	原町高等学校
小高工業高等学校	600 人	588 人	400 人	305 人	360 人	290 人	400 人	329 人	南相馬市サッカー場
原町高等学校	720 人	708 人	520 人	452 人	480 人	452 人	480 人	465 人	
相馬農業高等学校	360 人	331 人	360 人	281 人	360 人	243 人	360 人	229 人	
相馬農業高等学校飯館校	120 人	88 人	120 人	54 人	120 人	69 人	120 人	69 人	福島明成高等学校
相馬高等学校	720 人	705 人	600 人	583 人	600 人	591 人	600 人	587 人	
相馬東高等学校	720 人	711 人	520 人	502 人	480 人	479 人	480 人	473 人	
新地高等学校	240 人	202 人	240 人	180 人	240 人	166 人	240 人	171 人	

学校間連携校としてJFAアカデミー福島に在籍する生徒が通っている

富岡高等学校のいわき明星大学サテライトは在校生の卒業に伴って

平成28年度に閉鎖

2.6 子どもの遊び場整備事業について

事業概要：子育てしやすい環境を整備することを目的として、子どもが楽しく、安心して遊ぶことができる施設を整備する。

施設名称：かしまわんぱく広場

場所：鹿島区鹿島字北千倉地内

完了目標：平成28年4月竣工（平成28年4月供用開始）

進捗状況：プロポーザル方式による一括発注

- ・プロポーザルの実施（平成27年7月～8月）
- ・実施設計（平成27、年10月）
- ・ボーリング調査（平成27年9月）
- ・倉庫解体（平成27年11月～12月）
- ・駐車場整備工事（平成27年11月～平成28年1月）
- ・建設工事（平成27年12月～平成28年4月）
- ・遊具設置・外構工事（平成28年2月～平成28年4月）
- ・平成28年4月18日完成
- ・平成28年4月22日竣工式実施

原子力災害の克服（除染以外）関係

2.7 再生可能エネルギー導入推進事業について

事業概要：市が再生可能エネルギー発電基地の事業用地（市有地）を確保し、SPCが発電所を建設、運営を行う。

（沿岸部大規模太陽光発電所）

- ・平成25年3月に復興整備計画に基づく土地利用方針の国同意を得て、権利移転に向けて手続きを進めている。
- ・平成26年4月にSPC（ソーラーパワー南相馬株）設立。
- ・平成28年3月に事業者へ太陽光発電所用地（鹿島区）を引き渡し。
- ・平成28年5月に太陽光発電所（鹿島区）の工事着工。

発電所名(仮称)	発電規模	計画場所・面積	工事着手
南相馬真野右田海老太陽光発電所	45.5MW	真野地区(約48ha)	28年5月 運転開始 30年3月予定
		右田・海老地区(約58ha)	
南相馬原町東太陽光発電所	24MW	下渋佐・萱浜地区 (約46ha)	28年11月予定 運転開始 30年秋予定

（沿岸部風力発電所）

- ・平成25年6月にSPC（株南相馬サステナジー）設立。
- ・平成26年2月に環境アセスメント（特定環境影響評価）の手続き完了。
- ・海岸防災林造成事業等との調整を図り、保安林解除に向けて県と協議を進めている。

発電所名(仮称)	発電規模	計画場所・面積	工事着手
万葉の里風力発電所	9.4MW (2,350kW ×4基)	鹿島区南海老・北右田・ 南右田地区 (約5,000㎡×4箇所)	28年12月予定 運転開始 30年4月予定

公共施設再生可能エネルギー導入

事業概要:再生可能エネルギーの推進や、災害時における防災拠点施設等の最低限の機能維持を図るため、公共施設へ再生可能エネルギー設備及び蓄電池設備を導入する。

	施設名	設備容量		導入年度	進捗状況
		太陽光	蓄電池		
1	鹿島区役所	30.38kW	32.4kWh	25年度	26年1月工事完了
2	鹿島保健センター	16kW	22kWh	25年度	26年1月工事完了
3	原町保健センター	20kW	30kWh	25年度	26年3月工事完了
4	原町第一小学校	20kW	22kWh	26年度	27年2月工事完了
5	原町第二小学校	20kW	22kWh	26年度	27年2月工事完了
6	石神第一小学校	20kW	22kWh	26年度	27年2月工事完了
7	鹿島小学校	20kW	22kWh	26年度	27年2月工事完了
8	上真野小学校	15.75kW	22kWh	26年度	27年2月工事完了
9	大甕小学校	20kW	22kWh	26～27年度	27年11月工事完了
10	太田小学校	16kW	22kWh	26～27年度	27年9月工事完了
11	原町第三小学校	20.8kW	22kWh	27年度	28年3月工事完了
12	石神第二小学校	20.8kW	22kWh	27年度	28年3月工事完了
13	南相馬市役所	37.44kW	33kWh	27年度	27年11月工事完了
14	高平小学校	20kW	22kWh	27年度	27年11月工事完了
15	八沢小学校	20kW	22kWh	27年度	27年12月工事完了
16	小高小学校	15.75kW	22kWh	27年度	27年11月工事完了
17	原町第一中学校	20kW	20kWh	29年度	28年度実施設計予定
18	原町第二中学校	20kW	20kWh	29年度	28年度実施設計予定
19	原町第三中学校	20kW	20kWh	29年度	28年度実施設計予定
20	石神中学校	20kW	20kWh	29年度	28年度実施設計予定
21	鹿島中学校	20kW	20kWh	29年度	28年度実施設計予定
22	小高中学校	20kW	20kWh	29年度	28年度実施設計予定

2.8 小高区復興拠点施設整備事業について

事業概要:原子力災害による避難指示によって機能停止となった小高区の再生に向けて、住民が帰還し、安心して生活できる環境を整備し、復興の足掛かりとなる復興拠点施設を整備する。

実施期間:平成30年4月(工事完了予定)

今後の予定:基本設計(H27.7公募開始、H27.9受託候補者決定、H27.10契約、連続WS【H27.11/1、11/15、11/19、12/13、H28.2/21】)

H28.3補正予算で繰越明許費を設定し、基本設計等を繰越し、H28.5/31完了予定。

実施設計(平成28年度発注予定)

建設工事(平成28年度発注予定)

2.9 放射線被ばく検診事業について

事業概要：南相馬市に住所を有する希望者等へ問診、ホールボディカウンター・ベビースキャンによる検査及び診察を行う。

平成 28 年度実績

5月31日現在

区分		対象者数	受診者数	受診率	進 捗
乳幼児		2,743 人	0 人	0%	4月末に個別通知を発送 6月から乳幼児用内部被ばく検査 (ベビースキャン)を開始する。
小学生 (集団)	1回目	2,168 人	<u>341 人</u>	<u>15.7%</u>	学校検診1回目5月開始
	2回目	人	0 人	0%	学校検診2回目 11月開始予定
中学生 (集団)	1回目	1,288 人	<u>879 人</u>	<u>68.3%</u>	学校検診1回目5月開始
	2回目	人	0 人	0%	学校検診2回目 11月開始予定
市外避難小中学生		1,171 人	4 人	0.3%	・随時、申込受付 ・28年3月、申込書を広報紙と一 緒に全戸配布。
高校生相当		1,752 人	4 人	0.2%	
一 般		63,969 人	<u>443 人</u>	<u>0.6%</u>	<u>6月上旬に高校生に個別通知と共 に、市外通学者に各市内高等学校 を通じて申込書を配布</u>
合 計			<u>延 1,671 人</u>		

上記対象者数は住民基本台帳の登録者数及び平成 23 年 3 月 12 日以降の転出者数に基づく(平成 28 年 3 月 31 日現在)

3.0 個人積算線量計等緊急整備事業について

事業概要：個人線量計を貸与し放射線量を測定するとともに、健康教育（講演会、健康相談等）を実施する。

進 捗：・南相馬市放射線健康対策委員会は、4月19日に本年度第1回を行い、本年度の委員会の方針、放射線健康調査系の事業概要を確認。外部被ばく測定の結果通知の方法について検討した。

測定期間：平成 28 年度

実施回数	貸与数	進 捗
1回目(4月~6月)	6,300 人	3月下旬より線量計発送済。
2回目(7月~9月)	人	<u>6月下旬より線量計発送</u>
3回目(10月~12月)	人	
4回目(1月~3月)	人	

平成 28 年度 その他母子保健事業等での相談会実施実績：

対象事業	日 時	場 所	参加者数
ママカフェ(県事業)	4月11日(月)	原町保健センター	2人
4か月児健診	4月19日(火)	原町保健センター	26人
<u>4か月児健診</u>	<u>5月17日(火)</u>	<u>原町保健センター</u>	<u>15人</u>
<u>ママカフェ(県事業)</u>	<u>6月6日(月)</u>	<u>原町保健センター</u>	<u>11人</u>
<u>3歳児健診</u>	<u>6月9日(木)</u>	<u>鹿島保健センター</u>	<u>14人</u>
<u>4か月児健診</u>	<u>6月14日(火)</u>	<u>原町保健センター</u>	<u>26人</u>

参加者数合計 94人

3.1 防災備蓄倉庫整備事業

事業概要： 東日本大震災によりこれまでの想定を上回る甚大な被害を受け、長期間にわたる断水、停電に加え物流機能の麻痺などにより各種支援物資の円滑な供給が困難な状況に陥った教訓を生かし、避難直後から食料、飲料水及び必要な物資が確保され円滑な供給が行えるよう、防災備蓄倉庫を整備する。

建設予定地・・・萱浜ニュースポーツ広場

(南相馬市原町区萱浜字砂掛場45番地134)

構造・・・鉄骨平屋建

主用途・・・倉庫、事務室、ホール、トイレ等

スケジュール： 造成設計(平成28年6月～10月)

実施設計(平成28年7月～12月)

造成工事(平成28年11月～平成29年3月)

建築工事(平成29年3月～平成29年12月)

外構工事(平成29年11月～平成30年1月)

〔防災備蓄倉庫の配置方針〕

防災備蓄倉庫は、貨物車の物資の搬出入に配慮した配置とする

防災備蓄倉庫は、南側主道路から分かり易いファサードとする

大型貨物車が備蓄品の搬出入を行うことを踏まえて、大型車が敷地に進入し備蓄倉庫室から直接的に物資の搬出入を行い、敷地外へと安全かつ円滑に通行できる動線を確保する

物資搬出入のための貨物車と施設作業関係者の乗用車の動線が交錯しないよう計画する

大型車を含む搬出入のための貨物車及び施設内作業のための職員等の駐車場を確保する

3.2 避難所看板整備事業

事業概要： 避難体制の強化及び防災意識の高揚を図るため、避難所、避難路、海抜・津波到達点の表示板の整備を行う。

スケジュール： 【避難所看板の設置等】

設置工事：平成28年3月～平成28年12月

【情報看板等設置】

配置計画の検討：平成28年4月～

配置計画(案)の作成：平成28年6月

設置工事：平成28年10月～平成29年1月